

景況実感調査(2017年7月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 稼働日 20 日、対前月比 2 日減となったが、日足数量、売上は微増となった。新値玉の入着と共に、過半が高値品となるも一部ユーザー向けには他社からかなり低価の売り込みも散見され、1 万円は切り上がったものの 1.5 万円にはかなりの拒否反応が見られ、店売り市場は苦戦を強いられている。建材向けには動意が実感されず、盆休み明けの実需動向に期待。ステンレス品薄感に変化なく、表面処理はタイト感が和らいだ印象があり、ユーザーも当用手当が大半。
- ② 在庫は現状やや過剰感があるものの、この先近々に適正化に向かうと思われる。ただ、一連のメーカー値上げで在庫減が高いものに入れ替わっており、流通は市況の膠着状態が続く中、急激な採算悪化に直面している。
- ③ 末端市場での足取りが重い上に、原料価格の値下がり下期の集購価格が弱含みのため、ユーザーは在庫を控え気味で、値上げ交渉も難しい状況だ。

中板

- ① 全体の稼働及び販売動向については、前月比大きな変化は無いものの、スリッター加工が増加している。他社も同様の傾向にあるとの情報もあり、実需が出て来ている兆しが見える。秋需の盛り上がり期待するとともに、仕入れ玉の単価が上昇しており、原価が上がっていることから、再販価格の改善に努めていきたい。

厚板

- ① とくに盛り上がりもなく 7 月は過ぎた感があるが、8 月からは建築分野を中心に需要回復の兆しが出て来ると聞く。

开形鋼

- ① 4 月以降、微減ながら 7 月まで売上は前月比減少のトレンドとなった。端境期と人手不足が原因だろうが、市況が崩れないのが不思議である。しかし、建築、土木、機械、設備と様々な仕事がこれから出て来ると期待している。8 月から、その魁が散見されてくるのではないか。
- ② 現在は職人が足りているが、9 月以降には現場が出て来て、職人不足が懸念される。

HI 开形鋼

- ① 7 月の倉出しは前月比、前年同月比ともプラス。土木向けの物件が底堅く有り、9 月以降の需要期に向け市況を上げていく。
- ② 需要は少し増加していると思われるが、市況はまだ反応していない。ただ、メーカーは反応し出した感があるので、これから変わる可能性が出てきた。

異形棒鋼

- ① 倉出しの動きは、6月は良く、7月は悪かった。8月に入り良くなって来ている。スクラップが上がり、メーカーも上げて連休明けに店売りも上げざるを得ない。
- ② メーカーはコストアップ要因が目白押しで、7月後半より本格的に販値上げを実行している。流通としては、市況押し上げにて採算確保を目指す。

平鋼

- ① 建築関係に少し動きが出てきたように思えるが、足下の動きはまだ悪い。市況は荷動きの悪さから弱気ではあるが、スクラップも値上がりして、メーカーは逆に強気の姿勢を崩していない。温度差もあり、間に挟まって苦慮している。

軽量形鋼

- ① 引合いは若干回復基調にあるが、まだ低水準のためか単価に影響してこないで、相変わらず苦しい状況が続いている。
- ② 引き続き原材料不足。相変わらず受注のバラツキが大きく、工程が立てづらい。
- ③ 需要はまだ弱く、今年度を通して弱いという見方もある。足下は学校改修が始まった関係から急に忙しくなった感じであるが、一過性のものと受けとれる。

鋼管

- ① 7月前半は低調であったが、後半に入りやや回復感が見られる。環境は厳しいが、価格転嫁に取り組んでいる。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連は全体的に堅調な動きが続いており、とくに海外向けKD部品輸出は好調な動きが続くものと思われる。建設機械関連は秋口以降、不透明となっていたが、中小型機種は底堅い動きが続いており、しばらく続くものと思われ、また大型機種についても輸出向けが増加傾向となっている。工作機械も堅調な動きとなっている。店売りの動きは変化なく、あまり振るわない状況が続いている。市況については横這いで推移している。
- ② 店売りの状況は変わらず低調な動きで推移している。8月も同様の動きとなっている。

鋼材全般

- ① 6月と比較して特に変化なし。昨年と比べても7月としては動きが悪い。単価も値上げ出来ず、厳しい。再度、単価面が動き出すのは9月になってからと予想される。早めに値上が出来なければ収益的に厳しい。

その他

<スクラップ>

- ① 荷動きは徐々に回復して来ている。今後は荷動き、価格共に好転して来るのではないかと。

<金属表面処理加工>

- ① 7月は紐付き、物件物ともに計画通り。スポットは予想に反し低調であったが、引き続き先納期の引合いが活発で、8月は同水準以上となる予想。付加価値の高い案件が8月より加工スタートとなることから、数量、売上とも高いレベルで推移する。塗料を含め各コストが上昇中なの気掛かり。